

第473号

広報



あくね

人口
住民基本台帳人口と世帯数
6月1日 現在
()は5月1日から

人口	29,483 (+36)
男	13,739 (+23)
女	15,744 (+13)
世帯数	9,956 (+21)



61年
6月号

健やかな成長を願う

(ひな女)

佐潟 さやかちゃん

猿楽 文ちゃん

猿楽 亜由美ちゃん

毎年、旧暦四月八日のお釈迦さまの誕生日に開かれます西目佐潟区の「ひな女祭り」が、今年は五月十六日佐潟漁港広場で行われました。

この祭りは、佐潟出身の男性が結婚して、この一年間に生まれた長女(ひな女)だけに行われる祭りです。

今年のひな女は三人。薄化粧にハチマキ、晴れ着姿のひな女を後ろ向きに背負い、太鼓や三味線の阿久根ハンヤ節の曲にのり、おばあちゃんが、次におじいちゃんと一緒にやかに踊り廻がれていきます。なれない背負われ方で泣くひな女。長い踊りで疲れたのかぐったりしているひな女。その姿が実にかわいく感じられます。

今年は西目小学校の全児童もお祝いにかけつけてくれました。

何年か前、この祭りの主役だった児童もおばあちゃんやおじいちゃんの背中のおくもりを思い出したかも知れません。

間伐材を利用した新魚礁や 「イワシせんべい」などの新製品に期待

— 新製品開発推進会議 —

「阿久根市は海と山の自然条件に恵まれ、ポンタンやタケノコ、イワシやウニなどの農林水産物資源に恵まれ、その資源を利用した、いろいろな特産品も数多くあるが、しかし、この他に新しい特産品はできないものか。豊富な資源を利用しているのかができないものか」と、昭和五十九年度に新製品開発推進会議を設立されました。

現在、

新魚礁を実験中

「山に行くと間伐材が放置されているような状態であるが何かに利用はできないものか」と、検討したのがコンクリート魚礁と、この間伐材を組み合わせた新魚礁

です。早速、漁協などの協力により約二・五四方のコンクリート魚礁に七ほどのヒノキやスギを約三千本埋め込み、合わせて七基を大川尻無沖に投入しました。

コンクリート魚礁だけでは魚礁の役目をするまでに二年ぐらいかかるが、この間伐材を利用すると即、魚礁の役目を果たすことができるのではと、漁業関係者はもちろんのこと、林業関係者も期待しているところだ。



間伐材を利用した新魚礁

“おいしい”と大好評 「イワシせんべい」を保育園で試食



イワシせんべいをおいしそうに食べる園児
(鐘華保育園)

いろいろな新しい食品も考案され、その新製品の中には、すでに商品化し、皆さんの家庭にお目見えしているものもあります。

その新しく考えられた代表的な製品が「イワシせんべい」であります。小麦粉に、乾燥させたイワシの粉末を混ぜ合わせ、さらに小イワシを二匹、センベいの表面に出し、いわゆる栄養食品を目的としたものであります。

先日は、このイワシせんべいを市内の保育園児に食べてもらい、その反応をみてみると、試食会が行われました。どの園児もセンベいの表面にでている小イワシをめずらしそうに見ながら、「おいしい」「もうセンベいはいないの」

と、大好評でした。

その他には、イワシとスケツィダラを、すり身にして練り合わせた「イワシたんざく」。五百グラム程度のタイの魚をそのままの姿でみそ漬けにした「タイのみそ漬」。お酒のつまみに最高の「赤ちようちん（味付ホルモン）」や「えのきぐれ」たけのこしぐれ」などがあります。

これらの苦労して考案された製品が商品化され、阿久根市の特産品となるよう関係者一同期待しているところです。

市民の皆さんで、新製品としてのアイデアがありましたら商工観光課までお知らせください。

当初、専門部会ではいろいろな意見がでるものの、しかし、これまでもそれぞれの関係者の方々が考えられ、努力され製品を作り、それを商品化していることを考えれば、なかなか難しい問題であり、部会でも苦労したものであります。

「阿久根の資源にはどのようなものがあり、その資源量は豊富であるのか」あるいは「今、人は何を商品として求めているのか。ま



LLと組み合わせたパソコンで音楽授業

パソコンで楽しく授業

個々に応じた 学習活動

— 鶴川内中学校 —

今年の三月、鶴川内中学校に十
七台のパソコンが導入され、生徒
もパソコン授業を心待ちにしてい
ましたが、ようやく四月末からパ
ソコンとLL（ヘッドホン）で話
ができる機器」を組み合わせた授
業が始まり、現在、先生、生徒と
もパソコンを相手に一生懸命です。
このパソコン授業は、情報化社
会が進むなか学校の授業に取り入
れ、対応しなければならぬとい
うことで総経費二千万円で設置さ
れました。

先生方は二回の講習会を終えて
から授業に取りくまれ、最初は先
生、生徒ともパソコンの基礎知識
や基本動作の習得に大変でしたが
何とか授業らしい形になったと話
しています。

生徒も授業だけでは物足りない
のか「パソコンクラブ」も結成し、
頑張っています。

また、先生方も「授業の教材作
りが難しいが、生徒も大変興味を
示しているので生徒のためにも頑
張らなくては」と、はりきってい
ます。

現在は、英語、音楽、社会科な
どの授業に活用しているが、近い
うちに全教科の授業に役立たせた
い方針であります。

今後、このパソコン授業でどの
ような成果が表われてくるか、先

近い将来 全教科に活用 パソコン授業の成果に期待

うことです。つまり、何十人を相
手にした一斉授業でも生徒一人一
人の進度や能力を見極めながら授
業ができるということでもあります。

パソコンは先生も教壇に一台持
っており、生徒用のパソコンと一
台ずつ連絡がとれるようになって
います。生徒がどこでつまづき、
何が理解できていないかを先生は
すぐキャッチでき、ボタン一つで



画面に映し出される問題に真剣に取り組む生徒

画面を通しての対話で指導ができ
るわけです。

授業の一部を簡単に紹介しま
す。社会科の授業で先生が「山の
等高線を画面に映しますので、こ
れで山の形を作りなさい」と、問
題が出されます。生徒はその等高
線を見て山の形を画面に映し出
すわけです。

誕生

おめでとう



山元 龍成	跡上 直仁	福浦 直樹	竹原 秀一	吉賀 知世	山平 和久	野田 阿良大	野崎 貴幸	二石 菜月	宮路 智子	白肌 健四郎	落 貴大	尻無 濱麻衣	小田 原志生	松永 圭介	大田 拓也	川崎 翼	富山 亮平	春田 和昭	西田 孝二	砂畑 泰裕	森 章太郎	柳川 龍一	徳永 恵大
久	男	明	弘	洋	和	雄	夫	徹	成	明	志	雄	壽	宏	美	三	吉	孝	二	和	弘	彦	一
(寺山)	(黒之浜)	(黒之浜)	(渡留)	(黒之浜)	(小瀬)	(黒之浜)	(下村)	(牧内)	(内田)	(弓木野)	(樺)	(牧内)	(大尾)	(新町)	(高松)	(山馬場)	(永田上)	(陳之尾)	(新町)	(新町)	(牧内)	(浦)	(幸田)

ふるさと
シターンへの道は

の町あくね」でいいのか!?

「進取」の気性がいま必要

観光シリーズ ①

魅力あるふるさとづくりをめざすため、今一度ふるさとを考え、見直し、盛り上げようということで始まったふるさとシターンシリーズ。これまで農業、漁業、商業シリーズをそれぞれ行ったが、今回は最後に「観光」についてスポットをあててみたい。

観光は極めて幅広く、また奥行きが深いものだといわれています。観光の発展は、そのままだ地域の総合的な発展につながる大事なことであり、このことから考えて見る時に魅力ある地域づくり、観光発展を図っていくためには、まず地域住民自らが、もう一度ふるさとを見直し、出発しなければならぬということです。

自信をもつて

「観光の町あくね」といえるか

まず、阿久根市の観光を簡単に紹介して欲しいといわれれば、「阿久根市は、鹿児島県の西北部に位置し、鹿児島市から車で二時間、南北二十二・四キロ、東西十一キロで面積は百三十五・八平方キロ、気候は温暖に恵まれて、人情豊かな漁業と農業、そして観光の町であります。観光の主なものとしては、野生シカの住む阿久根大島、日本三大急流の一つ黒之瀬戸、四十キロメートルに及ぶ海岸

線や、また、阿久根温泉もあります。特に夏場は阿久根大島を中心に、臨海海岸、大川島海岸は海水浴場のメッカであります。土産品は数多くありますが、その中でも特にボンタン、ガランツ、ウニなど山の幸、海の幸がいっぱいのものばかりです。」と紹介するでしょう。

しかし、私たちは自信をもって「観光の町あくね」と言えるかどうか疑問であります。



美しい大川西目の海岸線

確かに阿久根市を代表する観光地「阿久根大島」は、日本百名山選、新日本百名山にもなっているぐらいいで、県内外の人にもよく知られていますが、寂しいことに七月八月の二か月間だけの観光地であるがゆえに物足りなさを感じているのではないのでしょうか。

観光は

「地域全体の

イメージ」

が必要

観光について意見をまとめられた「観光診断資料」を見てみると、「観光は日常の生活から離れ

私の質問箱

国民年金

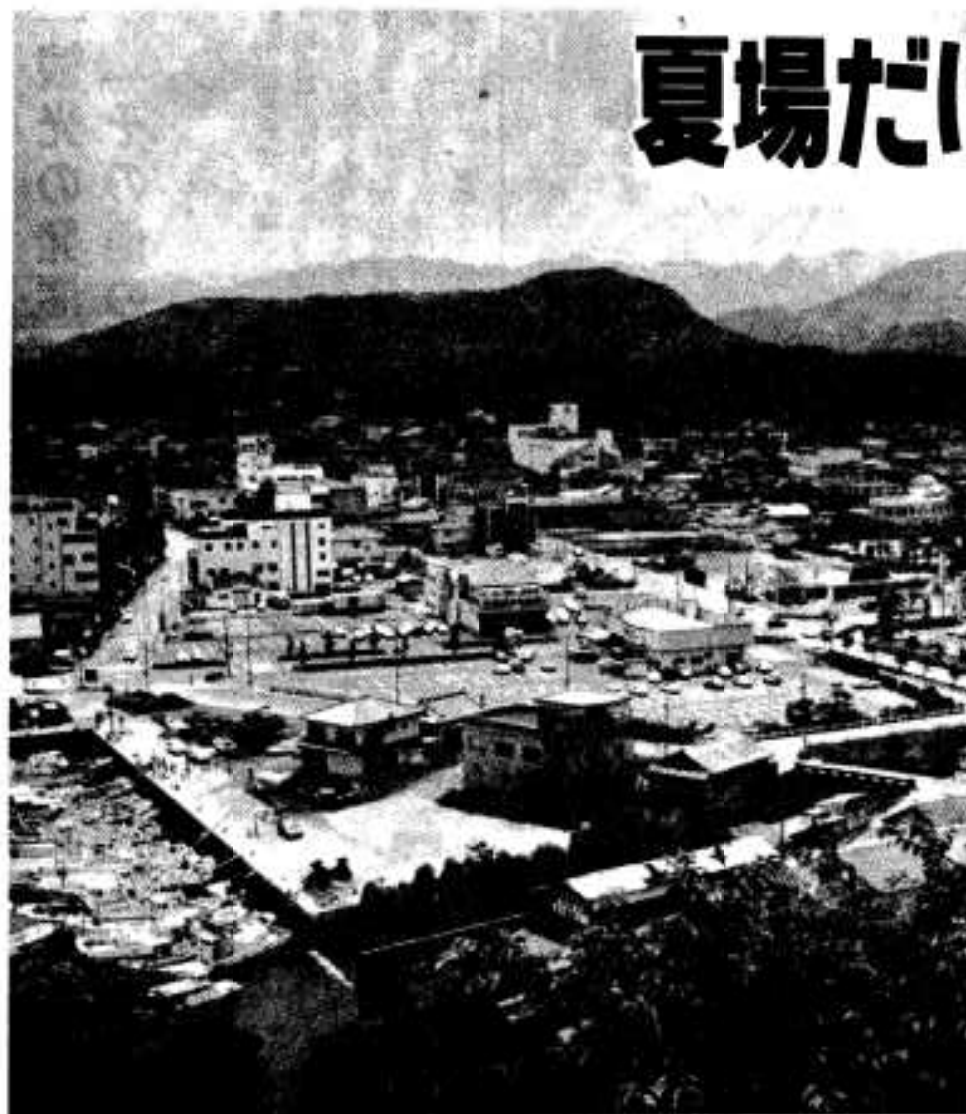
シリーズ⑥

◎私は昭和六十一年四月一日で六十一歳になる専業主婦です。国民年金には二十八年度四月から加入し、六十歳まで掛け続けました。新しい制度では六十五歳まで加入できると聞きましたが、そのとおりでしょうか。年金はまだ受けておりません。

①新しい国民年金では日本国内に住所を有する六十歳以上六十五歳未満の人も任意加入できることになりました。この措置は大正十五年四月一日以前に生まれた者(昭和六十一年四月一日において六十歳以上である者)にも適用されます。

あなたの場合は、老齢年金の受給資格期間をすでに満たしておられますが、二質問の内容から任意加入できる条件に該当していますので加入できます。加入する期間は、老齢年金の限度額の加入期間である三百五十九から保険料を納められた期間の二百六十四月を差し引いた後の期間(四十一月)になります。

夏場だけの「観光



て、心身を新たにする活動ないし状態」だといわれており、また、「観光を考えるに当っては、単に観光施設や自然景観だけでなく、歴史・地域産業・生活なども含めた地域全体でのイメージ形成が必要となっている」とも、書かれています。

そういわれて見れば全国におい

て、最近特に観光客が増えたと聞く観光地はその地域の特色をうまく調和し、アピールしています。古い町並や史跡が残り、用水路には色とりどりの鯉が泳ぎ、伝統工芸品として有名な焼物などもあり、また、海と川と山の自然の美しい町で形成されています。

このことから考えてみますと、

歴史と自然など、その地域のイメージがうまく調和された所に観光客が集まってくるのではないのでしょうか。

観光客の

心を満たす

何かが必要

観光旅行をする時に検討し頭にかかれますことは、まず景勝地を探します。その次に伝統工芸品や歴史的なもの、また、企業視察なども計画にいたりします。そして、家族ででかける場合は、子供が遊べて楽しめる所があるかなどであります。夜ほだいたい温泉のある町を選びます。

これを阿久根におきかえてみるとどうでしょうか。温泉はあるにしましても、その他はたして観光客の心を満たしてくれるのでしょうか。

出水方面から車で走っていると市街地入口付近から見える阿久根大島などの展望や大川の国道三号線沿の海岸線など確かに景勝地としては目を見張るものがあります。しかし、車を停めて十分間位心をいやすのが関の山で、「よし今度は阿久根に家族と一緒にきてみよう」と、思われる人が何人いるか問題であります。

あなたも

電気工事士に

なりませんか。

次により電気工事士実技受験準備講座が開講されます。

▽日時 六月二十九日から七月二十日（各日曜日）と七月二十六日（土曜日）午前八時三十分から午後四時三十分。

▽場所 川内職業訓練短期大学校
▽申込締切日 六月二十五日（水）
詳しくは川内職業訓練短期大学校まで。☎099622121

給油所の

日曜当番店

六月二十二日

阿久根市農協（折口）⑤1302

阿久根石油（阿久根港）③2430

六月二十九日

折口石油（折口）⑤0251

阿久根市農協（波留）②0075

七月六日

田野興産（赤瀬川）②0657

松永石油（牛之浜）③1342

七月十三日

築瀬石油（赤瀬川）②1093

マルハ商事（湯）②1555

七月二十日

池上石油（新町）②0807

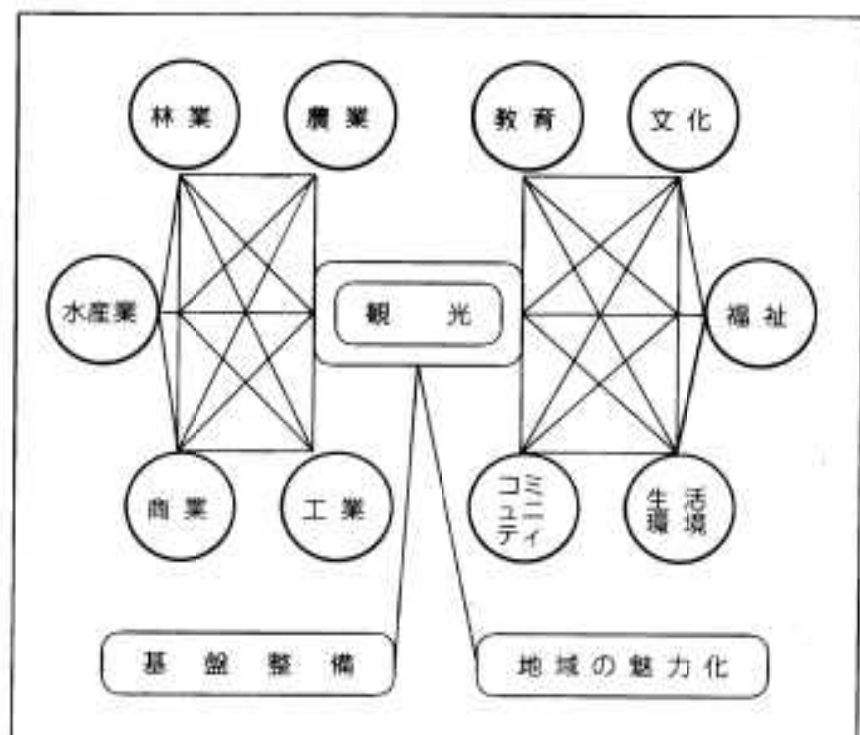
田中石油（大川）④0039

「観光の発展」は 「その他の産業の発展」に つながる

前に中学校生徒の座談会で「阿久根大島と阿久根本土とを橋でつなぐと、大島を利用する観光客も多くなるのでは」「国民宿舎周辺は高く見晴らしもいいので、いいの村やキャンプ場など総合公園

みたいなを作ったなら」などと、意見が出ていたようです。

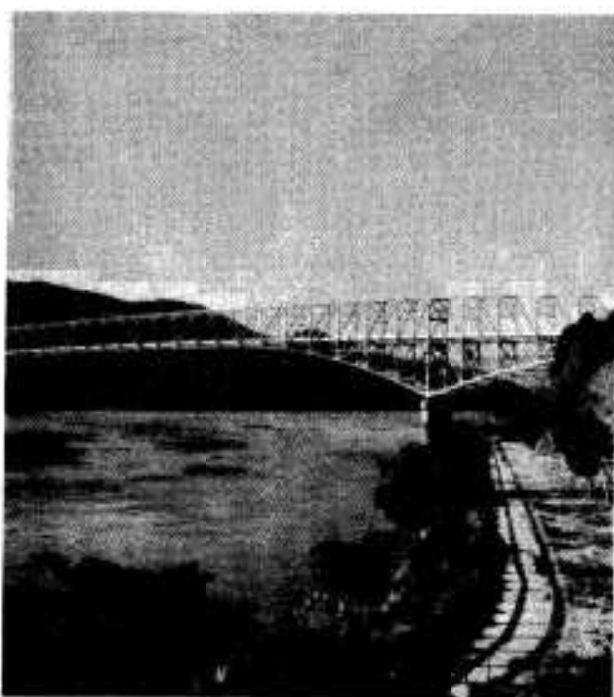
このような意見がでるといふことは「ボンタンがあり、おいしい魚が食べられ、鹿のいる大島がある」、これだけでは物足りないの



ではないか。何かを考えてやらなければ観光発展は望めないのではないのかと思う、強い気持ちからの意見だと思えます。また、「観光あくねを発展させることによって漁業、農業、商業などが発展するのは目に見えてわかっていきます。そのためには……」と語ってくれています。

確かに言われるとおりです。観光客が阿久根市に集まることによつてイワシやキビナゴ、タケノコなどがテーブルに並べられ、また、ガランツやウニ、ボンタンなどの特産品がお土産として売れる。

このことから考えてみても観光は阿久根市全体の活性化につながる大きな要因だと言えるのではない



阿久根市の観光地のひとつ黒之瀬戸大橋

黒之瀬戸大橋を 利用しての 観光ルートは

市民の方に意見をお伺いしてみました。ある人は「日曜日など家族で朝から夕方まで遊べるような公園はできないだろうか。例えば鹿児島市の吉野公園みたいに、規模は大きくなくても見晴らしのいい場所に。そうすると、今は車の時代でもあるので南は串木野から北は水俣までの人たちが集まってくるのでは」とか、またある人は「阿久根だけの観光で満足できないようであれば、黒之瀬戸大橋を利用して、阿久根市、長島町、東

「ごめいふくを
お祈りします」

川原	勝	61	(川畑中)	勝照
猿楽	ワイ	95	(浜)	忠
福田	敏子	65	(浜)	健二
黒神	長吉	87	(波留)	高男
佐瀬	ノブエ	70	(町)	本田
山本	ツヨ	87	(東牧内)	フジ子
松永	仙吉	85	(牛之浜)	イトノ
牛之濱	又男	60	(牛之浜)	アサ子
美里	六十一	60	(東牧内)	マツ子
佐瀬	鈴子	31	(佐瀬)	亀三
花田	イッ	98	(仲仁田)	松實
中村	静	83	(上原)	松木
川俣	淳	79	(下村)	衛
有田	トシ	60	(上野)	昭
大瀬	休次郎	87	(大瀬)	ツユキ
松崎	ハツ	66	(下村)	勝雄
懸野	崎ヤエギク	89	(藤本浜)	達雄

交通遺児育英会 奨学生の募集

昭和六十二年度高校、高等専門学校に進学を希望して現在、中学校三学年に在学し、保護者などが交通事故にあたりして教育費に困っている生徒を対象。

詳しくは市教委学校教育課まで

町が協力して観光施設や海岸線の景勝地を利用しての観光ルートができないものか」と、いろいろな意見もあるようです。



夏場だけの大島では鹿もかわいそう

市長室から

「道路整備に」協力を

梅雨に入り、うっとうしい毎日が続いています。市民の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

さて、昭和六十一年度事業も皆さんの協力により着々と進んでいるところであります。中でも特に道路の改良整備につきましては、施策の中の重点事項として取り上げておりますが、事業の進捗を早めるためには市民皆さんのご協力が何よりも大

行政・民間・住民が 一体となって 「周年観光あくね」 をめざそう

「観光あくね」を発展させるには大変難しい問題だと思えます。口では簡単に言えても、いざそれを実行するとなれば膨大な費用が

切であり、今後とも従来以上に積極的なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年度も上原御野線や妻井田線をはじめ、その他多くの道路整備を実施することにしており、これらが完了しますと市道の舗装率九七・一％、改良率四二・二％になる見込みであります。また、国道三号尻無地区バイパスは一周年中に、三八九号については六十二年年度供用開始を目標に着々と進捗している状況です。

今後の重点整備の一つに、市民の皆さんが特に関心をお持ちの県道阿久根・東郷線の整備があります。現在、阿久根市においては、

必要となってくることは明らかです。しかし、今すぐにできなくて将来にわたっての構想を考える時は今ではないでしょうか。

いろいろな所で市民の皆さんが観光について話をされているのを聞きます。また、中にはすばらしいアイデアを持った方もいらつしやるかも知れません。そういったアイデアを出しながら行政、民間観光業者、地域住民が一体となつて取り組み、観光あくねを一年に一つでも前進させるような何かをしなければ発展は望めないと思えます。

そして、川畑市長がいつも言っ

空港へ行くのに大変不便をされていますが、この道路が開通しますと大幅に時間短縮されることは明らかであります。

先日は「南九州西回り自動車道建設促進期成会」も開かれました。これは現在、八代市まで開通しており、高速度道路に鹿児島市までの百六十キロメートルを延長しようというものであり、この道路が完成いたしますと鹿児島市、八代市間を一時間四十分程度で結ぶこととなります。

これらの道路が開通しますと、県都鹿児島市、あるいは薩摩空港への交通利便はもちろんのこと、県外への交通網が整備され、産業

ているように夏場だけの観光ではなくて、周年観光をめざさなければならぬでしょう。

阿久根大島にしても、七月八月の夏場だけの観光地ではなく、三月頃から十一月頃までの春、秋も楽しませてくれる観光地であってほしいです。百三十頭の鹿もそれを強く望んでいるのかも知れません。

今回は、観光あくねに対するアンケートや関係者の方の話を中心に報告します。また、観光についてご意見があれば広報係までお寄せください。

の振興開発に、また、市民の生活の向上に大きく貢献することとなり、特に道路網の整備は観光の振興開発のためには欠かすことのできない大きな要素だと考えております。

現在、国や県、関係方面に対し、関係市町村と一体となり強力な陳情を展開し、早期開通の実現に向けて努力しているところであります。

今後、市民の皆さんの福祉向上のために積極的に道路整備を実施していきたいと考えていますのでご協力をよろしくお願い申し上げます。

阿久根市長 川畑 強

在宅医さん

在宅医の診療時間は午前九時から午後五時まで、急患の方以外はご遠慮ください。

6月22日

大塚眼科 ②0306(浜町)

林胃腸科外科③639(大丸)

浜之上医院 ⑤2600(脇馬場)

6月29日

簡井耳鼻咽喉科②0040(米町)

北園外科 ②0016(本町)

黒木外科 ⑤0200(下村)

7月6日

阿久根内科 ②0578(琴平)

田中外科 ③0553(大丸)

平医院 ⑤2626(古里)

7月13日

有村産婦人科③4180(米町)

内山病院 ③1551(高松)

石原医院 ⑤0045(橋之西)

7月20日

上園医院 ③1055(本町)

喜多医院 ②0038(大丸)

臨本病院 ⑤2121(橋之西)

交通事故相談日

七月十日(木)

市民相談室

昭和六十一年市民表彰式

宮園貞春さん崎山田鶴子さんに
市民特別表彰

功労者表彰は中津浜清さんら二十三人と七団体



招待者の見守る中 1人ずつ受賞される表彰式

昭和六十一年市民表彰式が、五月晴れの五月二十三日中央公民館で、市、市内の事業所、区長など約二百人が出席し盛大に開催されました。

式典では、川畑市長が「今後とも健康に留意され、郷土の発展のため良き指導者として、また実践者として市民の模範となつてご尽力ご協力ください」と、あいさつ。

今回の市民特別表彰は、宮園貞春さんと崎山田鶴子さんの二人。功労者表彰は、永年にわたつて市役所市民ホールに生け花をされている園田ミエさんら二十三人と七団体が受賞されました。

市民特別表彰を受賞された宮園さんは「今後とも市政発展のためにお役にたてるようがんばりたい」と話され、崎山さんも「夫の遺志をついだけなだけに、このような賞をいただき光栄です。市民の皆さんのお役にたててうれいす」と、大変喜ばれていました。

功労者表彰

(敬称略)

▽地方自治部門

中津浜清(浦) 白石十郎(町)

中平次男(折口東) 富吉貞吉(遠見ヶ丘) 中村正秀(東牧内) 迫田

実義(筒田) 横手区 馬見塚区

▽産業経済部門

駅前通り会会長田原優(上野)

平新繁(段) 落次丸(段) 安川英

昭(濁) 本田国定(山馬場) 上村

兼二(府) 尻無光夫(尻無中) 柳

武蔵(大川島) 磯畑親(新町) 古

野義武(段) 大尾弘(大尾) 慶越

誠喜(永田上) 野崎満次(折口東)

▽教育文化部門

寺下竹雄(高松)

▽一般篤行

園田ミエ(上野) 園田アサ子

(上野) 平川ミツエ(高松)

特別感謝

夫市議会議員崎山洋一氏は、昭和六十一年七月三十一日亡くなられ、故人が市民の読書熱に関心を持っていた遺志を継ぎ、市民の読書活動及び市立図書館の充実のため、百万円を寄付されました。



特別及び功労者表彰の方々



宮園 貞春さん(70)波留区

地方自治部門

昭和三十四年五月市議會議員に当選以来、三期十二年間市議會議員として市政の発展に貢献されました。



崎山 田鶴子さん(58)町区

市 民 特 別 表 彰

国土調査の進捗状況

昭和六十年度末六十三パーセント実施

市全域完了予定は昭和七十年

宅地や田畑などを一筆ずつ正確に面積を測量する国土調査は、昭和四十五年度から始まりましたが、昭和六十年度末までに、大字波留、赤瀬川、折口、多田、脇本の全域

と西目、鶴川内、山下、大川の一部が完了しています。

当市の調査該当面積は百十一、六九平方キロメートルで、そのうち七十、一平方キロメートルを実施しており、

六十三パーセントの進捗率をあげています。

本年度からは、大字大川と西目の残された地域を六十六年度頃までに実施し、その後、大字山下と鶴川内の未実施地域を行います。

市全域の完了予定は昭和七十年度です。

また、調査の終わっていない土地を所有の方は、国土調査が順調に実施できるようご協力をお願いします。

国土調査実施状況図



油断が大きな災害につながります

大雨災害に注意を!!

今年もいよいよ梅雨の時期を迎え、引き続き台風の季節がやってきます。

本県は、県土のおよそ半分が水を含むと崩れやすい性質をもつシラス土壌に覆われているうえ、台風常襲地帯でもあります。また、梅雨末期には局地的な集中豪雨に見舞われることも多く、毎年、がけ崩れなどが多発し、大きな被害を受けてきています。

私たちは、日頃から自分の家のまわりを十分確認して、テレビ、ラジオなどの気象情報には特に注

意し、危いと思ったら早めに避難しましょう。

阿久根中学校周辺

(大雨浸水) など

災害危険箇所を

点検実施

五月二十九日、梅雨入りを前に市内の災害危険箇所を点検し、対策会議が行われました。

点検には、川畑市長、新井助役をはじめ、市の関係職員二十人が参加し、大規模地すべりのおそれがある黒之上区や大雨時には周辺の住宅浸水のおそれがある湯区の大橋川付近など六箇所を点検しました。

点検を終えた後は対策会議が開かれ、それぞれの危険箇所の防災対策について検討されました。



災害危険箇所を点検する川畑市長ら(脇本浜海岸)



もうすぐ見られる この勇壮な鬼神の姿

八年に一度しか見られない

みなかた 南方神社の 神舞

八月二十八日(木)に開催決定

阿久根市を代表する郷土民芸で、県の指定無形文化財にもなっている波留区の神舞が今年開催されます。

この神舞は八年ごとに開かれ、前回は昭和五十三年に行われま

したので今年がその八年目にあたり、現在波留区の皆さんは、その準備に大変な毎日です。神舞の内容を次号から掲載します。

焼酎を飲みながら ふるさとの話でにぎわう

— 近畿地区阿久根会総会 —



ふるさとの思い出を語り、にぎわった総会

毎年、春と秋の二回行われる近畿地区阿久根会(田原克己会長)の総会が、四月二十日兵庫県宝塚市のファミリーランドで約二百五十人が参加し、にぎやかに楽しく開催されました。

総会には、阿久根からも川畑市長や富吉市議会議長、杉原議長など十人が参加し、川畑市長が「阿久根出身としての誇りをもって、元気でがんばってください。ふるさと阿久根は、皆さんがいつも頼りいただいても安心していただけるよう私たちが守り、がんばります」と、あいさつ。また、会員の皆さんに、阿久根からのお土産として

「キビナゴのサシミ」や「ボンタシ」などを贈りました。

総会の後は懇親会が行われ、阿久根の焼酎を飲みながら、ふるさとの思い出話に花が咲き、歌や踊りがでるなど、大変なにぎわいぶりを見せていました。

阿久根市の 物産と観光展

福岡で大盛況

五月二十三日から二十七日までの五日間、福岡県志免町の西友ストアで「阿久根市の物産と観光



物産展の大盛況に大忙しの係員

展」が開催されました。

これは西友ストアの協力により、市主催で初めて行われたもので市内の五つの業者が参加し、ポスタル、イワシ、さつま揚げ、タケノコなど当市の特産品が店内に並べられ、また一角には阿久根市の観光を紹介するビデオテレビも設置されました。

店内には連日、福岡県内の阿久根市出身の方をはじめ、多くの人々が訪れ、大変な盛況ぶりを見せていました。

市では、これを機会にできれば関東や関西でも開催し、阿久根市の特産品紹介や観光宣伝のためにも積極的に取り組みたいと考えています。

スポーツ

第5回県身障者 ゲートボール大会

脇本チームが 見事優勝



念願の優勝旗とカップを手にした脇本チーム

スポーツを通して自立更正の意欲を高め、親睦と相互交流を図り、地域社会への理解を深めることを目的とする第五回県身障者ゲートボール大会が五月十五日鹿児島市で開催されました。

大会には県内各地区から四十八チームが参加。当市からは脇本チームと大川チームの二チームが参加し、大川チームは善戦むなしく予選リーグで敗れたものの、脇本チーム（山平末義監督）は予選リーグ、決勝トーナメントと苦戦しながらも勝ち進み、決勝戦では始良郡の単人チームを十二対九で下し、見事優勝しました。

脇本チームの責任者大野澄義さ

んは「この優勝が市内の身障者の皆さんにもやればできるという大きな励みになるはずです」と、話していました。

同チームは、九月に熊本市で行われる九州大会に出場します。

ガンバレ 脇本チーム!!

全日本少年 サッカー大会 出水地区予選

阿久根小サッカー

スポーツ少年団が優勝

五月四日、十一日、十八日の三日間、高尾野工業団地サッカー場で全日本少年サッカー大会出水地区予選会が開催されました。

大会には十チームが参加し、総当たりリーグ戦で行われ、阿久根小サッカースポーツ少年団が八勝一分のすばらしい成績で見事優勝しました。また、当市からは折多小サッカースポーツ少年団も参加し、六勝一分二敗の成績で第二位でした。両チームとも県大会での活躍が楽しみです。

野球

高松宮杯市内軟式野球大会

四月二十日 総合グラウンド

(十二チーム参加)

優勝 市役所A 準優勝 バイキ

ング 第三位 ナショナル ヤンキース

天皇杯市内軟式野球大会

五月十八日 総合グラウンド

(十チーム参加)

優勝 メルローズ 準優勝 ヤンキース 第三位 バイキング 清防署

ソフトボール

春季ソフトボール大会

四月十六日、二十一日

総合グラウンド

優勝 野村建設A 準優勝 キング 第二位 メドレー マルイ農協

市内職場対抗ソフトボール大会

五月二十日、二十五日 総合グラウンド

優勝 阿久根農高 準優勝 NTT 阿久根電報電話局 第三位 虎印スポーツ工業 野村建設工業

バレーボール

春季職場対抗バレーボール大会

五月十三日、十五日

市民体育館 勤労者センター

(男子) 優勝 市役所A 準優勝 市役所C 第三位 上野製作所

市役所D (二十チーム参加)

ゲートボール

市内春季ゲートボール大会

五月二十七日 総合グラウンド

(四十一チーム参加)

優勝 佐瀬A 準優勝 折口東 第二位 新町 あけぼのA

スポーツ大会予定表

七月六日

出水地区少年スポーツ大会 陸上 市総合グラウンド

七月十三日

海の旬間記念遠水大会 (阿久根大島、五箇浜海岸)

小・中学生を対象

七月二十七日

三地区親善体育大会 開催地 牛深市

八月二日・三日

県体予選出水地区大会

八月十日

四市対抗陸上競技大会 開催地 出水市

おかあさん ありがとう

⑬



川崎みどりさん(34才)

市内尾崎区

川崎 あさみ (7)

わたしのおかあさんは、ぼんたんのくすりをかけたり、くきはらいをしたり、春になると、竹山にだけこのほりにいきます。

おかあさんのしごとは、たくさんあります。おかあさんは、いつもいそがしそうです。

おかあさんは、よく大きなこえでおこります。でもわたしは、おかあさんが大好きです。

「おかあさん、いつもありがとう。これからも、学校からかえたら、ゆり子のおもひをするからね。」

阿久根歌壇

折田 憲司 選

〈秀逸〉

天地(あめつち)の恵みのまにまに
夏につき蛸豆(たけふ)つくり仔細(しじゆ)をも飼ふ
鵬 本 京田久美子

〈評〉

事は言、言は心である。心をそのまま言葉にするには至難と断ずるのは抽象的になり観念的になる故であるが、作者ははからずも心が卒直に言葉となった。人生に密着した一真実は捨てがたく心に残る。

〈佳作〉

庭木々は若葉となれど放射能汚染
浸みぬ深く静かに
赤瀬川 海平 三蔵
手を送り水銀灯を背に影を踏みつ
つ帰る春の夜の道

わが店に優しき香り伴ひて蘭を持
ちたる少女入り立つ
鵬 本 赤崎 タエ
耕松機に鋸かる土のなまなまと
初夏の入り陽を撥ねつつ反る
鵬 本 宮原 範子

友だちの作品

・脇本小学校

書評

○太田さん一払いやはねの基本を心得ており、全体のバランスがよい。

五月の
五年 太田聖子
大空の

五月の
五年 堀切まゆみ
大空の

い。「の」を今少し練習しよう。
○堀切さん一筆使いの基本がしっかりしており、元氣よく書けた。名前が下がりすぎ。
○坂元くん一画数の多少に注意し整った字形で、運筆もよい。
○下石くん一字形が整い、すっきりしているが、今少し線が細い。

白鳥
六年 下石和樹

白鳥
六年 坂元頌久

その思ひ如何ばかりなむ沖繩の司令長官の遺詠みつむる

北強さ日振の沖に綱揚ぐる子等の掛声に響かふ
琴平町 川畑 スミ
宇和島 小島孝太郎

漁舟えて朝の港に着きしとき文旦の花がすかに匂ふ
浜町 猿楽 忠

丘の上の丹室市長の像仰ぐ建基の思ひ胸せまるまで
大川 花木 鶴蔵
出漁のエンジンの音まな下に聞こえて社の清掃すむ
本町 河南 節子

肩の痛みやはらされたればおもむろに五月の空に腕あげてみる

茅刈りて広くなりたる一人家に市田を千せば白く輝く
大丸町 橋崎 幸
桐野 竹原キミエ

見送りに来し彼の日は誠実に時をり香娘にそそがれて居り
高松町 勝日 悦子

音もなく雨降りしかば庭の木に掛け忘れたる上着徳ひ出づ
鴻 川畑 ヨツ
見はるかす豊後の麦田波うちて光のうね渡りゆくなり
赤瀬川 達夫 律

一品料理

らっきよう漬

らっきよう 1.5kg
塩 150g
さとう 300g
唐辛子 一リットル
二本

- 1 らっきようは外側の皮をむき根と茎の先を包丁で切り落とし形を整え、よく水洗いする。
- 2 鍋に塩、酢、砂糖を入れて火にかけて塩、砂糖がとけたら冷ましておく。
- 3 唐辛子は種子をとり、小口切りにしておく。
- 4 容器にらっきようを入れ、調味液と唐辛子を加える。

県リーグ優勝へ
「ゴール・ゴール」

三笠サッカークラブチーム



サークル紹介

(32)

昭和五十八年五月三十日結成以来、出水地区サッカー協会のご指導ご協力により社会人、高校生チームと練習試合をしながら今日にいたり、本年度から県社会人サッカー連盟に加入して、現在、リーグ戦でがんばっています。

部員二十三名、三笠中学校出身の先輩・後輩で、若さはもちろん可能性と期待を兼ね備えたチームワークがモットーであります。

また、市内大会として、高校生を含め、年に数回大会ができるよう他チームの結成を願っているところです。

練習は、市総合グラウンドや臨本地区運動広場で行っていますので一緒にサッカーをやりたい方は中原まで、⑤-1064

一口健康メモ 健康にやせよう

30代までの女性に「あなたは太っていますか」ときくと、標準体重である80%の人が、「太め」と答えるそうである。

簡単には、身長から百を引き、これに〇・九をかけたのが標準でそれより20%上回ると、一応肥満

という。最近、中年以後の肥満も問題だが、無視されがちな小児肥満も立派な成人病予備軍として、注目されている。

二ヶ月5kgやせた人に体験談をきいてみた。①血の一人分だけ減がまんする ②一日三食、間食はしない ③仕事や運動をして体を使う ④野菜海藻バランス食 ⑤

とにかく続けてみる。本物の太めさん、もうすぐ夏。実行あるのみ。

あくねのみんな 下男の与助

(53)



昔、小牟田の士族の家に、与助というでくわんが、奉公していました。

この家では、奉公人は家族と同じ物は、食べられませんでしたが。

ある日のこと、主人が、かもうちに行つて、かをもとに羽とつて来ました。

そして、与助に

「このかものは、骨と肉と、別々にこしたえてくれ」と、いいました。

与助は、いわれたとおり骨と肉を別々にこしたえて、主人の所に骨だけを持って行きました。

でくわんの与助や、下女のよねは、肉を食べたことがありません。そこで、とんちのよい与助は考えたのでした。

主人は、

「与助・与助、こや骨ばつかいじやらよ、肉はいけんしたとよ」と、いいました。

与助は、すました顔で

「肉は、くわならんとじやつでと思つて、やつぱへ、うっ捨てました」と、いいました。

「ないこで、そげんことしたとよ。肉が一番うんまかとじやらよ」と、

と、主人がいいますと、与助は「わたしや、今まで骨ばつていくて、肉はくたことがなかもんで、くわならんとじやろとおもて、捨てました」と、いいました。

主人は、おしそうな顔をしましたが、あきれて後は怒りもしませんでした。

図書館だより

今月の新着図書



としよかんだより

▼村上龍「走れノタカハシ」▼小島信夫「平安」▼三枝和子「幽霊と情愛の契りして」▼山田風太郎「旅人・国定龍次 上・下」▼池波正太郎「新・私の歳月」▼東野圭吾「卒業」▼雪月花殺人ゲーム▼吉沢久子「美しく老いる」▼ヨココ「オノ・たの私の私」▼野田秀樹「彗星の使者(ジークフリート)・宇宙(ワルハラ) 蒸発」▼中上健次「スバニツシュ・キャラバンを捜して」▼井上ひさし「国語元年」▼黒柳徹子「マイ・フレンズ」▼文藝春秋「女の華やき」▼田辺聖子の世界」▼杉本苑子「穠土莊嚴 上・下」▼沢本耕太郎「馬車は走る」▼大庭みな子「三面川」▼林真理子「愛すればこそ……」▼平岩弓枝「葡萄街道(ワイン・ロード)の殺人」▼北方謙三「碑銘」▼つかこうへい「青春 父さんの恋物語」



広場

③1211内214へ



むかしのこともの あそび ③6

しやがみ鬼

じゃんけんで、鬼を決めます。鬼が十数える間に、ほかの人は、鬼から離れて逃げます。鬼は数え終わってから、追っ掛けて捕まえます。鬼に捕まえられそうになったら、しやがみします。鬼は立っている人しか捕まえられません。捕まえられたら、その人が鬼になります。

参加児童数は二百十五人。大島には海水浴で来たことのあるけど知らない所がいっぱいあり、どのような問題がでるか不安の色はかくせないようす。問題は「大島には鹿は何頭いますか」「このチ

五月十八日阿久根大島で、市内の小学生を対象にした第四回ウォークラリーが青年会議所主催（橋崎一幸理事長）で開催されました。今回のウォークラリーは五人ぐらゐのグループにわかれ、大島の十カ所のチェックポイントで、与えられた問題を解きながら、ゆっくりに歩いて、決められた一番近い時間に大島を一周する競技です。



「この道はだいじょうぶかな」ちょっとした探検気分

エックポイントから見える島は何か？など。しかし、グループ行動という点もあり、どの児童も探検気分を

クイズやゲームで楽しい一日 阿久根大島のことなら ボクに私に聞いて

—第四回ウォークラリー開催—



田島 ミサノさん(83)

山下馬場区

「まだまだ元気ですよ。ゲートボールばかりじゃなく、農作業もまだしもん」

ふるさとをのびのびと楽しんでいます



永井野 昭則さん(26)

尾崎区

(株)マルシンシャツ阿久根工場

「職場の人たちと楽しく、がんばっています。できれば早く結婚を……」

がんばっています

味わい楽しみながら大島を一周しました。

午後からは、お父さんやお母さんたちが子供の頃していた「はっちゃん」や「どろぼうたんてい」などの遊びを、会員の方から教えられ、楽しい一日を過ごしていました。

キウイフルーツは

人工交配で生産向上

—橋本桐野・瀬之浦地区—

阿久根市の特産品の一つでもあるキウイフルーツの人工交配が、五月中旬頃から五月末にかけて橋本の桐野、瀬之浦地区で行われました。

この人工交配は、ミツバチによる交配だけでは完全ではないという点で、人の手作業により交配を行っており、まずオシベの花粉を乾燥させて花粉交配機で粉末に



人工交配でやがてはおいしいキウイフルーツに

この時期が一番忙しく、大切な時期でもあります。人工交配の終わった後は、七月初旬頃袋がけが行われ、収穫は十一月中旬頃になるそうです。

し、これに交配させた目印になるように色素を混合し、メシベに交配させるものです。

交配は昼間の高温時はきけた方がよいということで、早朝五時頃から午前中までに行われ、キウイフルーツの生産農家にとっては、

ハイ 元気だよ



上村明美ちゃん(一歳二カ月)
鶴川内 府区
上村 幸生さんの二女

とにかく 元気に 育ってほしい
真由美さん(お母さん)

なれない土地ですが ガンバッテ! 鹿大留学生を招き 交流会

—ライオンズクラブ主催—



地図を使って自分の国を紹介する留学生



みんなの

行事・催し物など
お寄せ下さい

国際平和年にちなんでの奉仕活動の一環として、鹿児島大学の留学生を招待し交流を深める会が五月二十一日マリナーホールで開かれました。

交流会は、ライオンズクラブ主

催(小園愛会長)で行われ、青年会議所、漁協青年部、農協青年部、四日クラブ、市青年団も参加し、約八十人が歓迎しました。

招待されたのはアルゼンチンの田代アリシアさん二名と八人で、ブラジルやペルー、インド、中国などからの留学生の皆さんです。会では、大蔵教育長が「なれない土地で大変ですががんばってください。今日は留学生の皆さんの話を聞いて学校教育にも役立たせたい」と、歓迎のあいさつ。その

後、留学生の皆さんが一人ずつ上手になった日本語で自己紹介。壁にかかげられた世界地図で自分の国を紹介したり、また日本の印象について、ブラジルの留学生の方は「四季があり、とてもすばらしい国です。私は雪をまだ見たことがないので大変楽しみです」と、話されました。

懇親会に入り、留学生の皆さんは海の幸、山の幸のおいしい料理を食べながら楽しい阿久根の夜を過ごしていました。

「これが南極の石です
上脇浩二さん(波留出身)が
南極から持参
昨年十一月から今年の四月まで第二十七次南極観測隊員を運送する「砕氷艦しらせ」に乗船されていた、海上自衛隊の上脇浩二さんが市役所を訪れ、南極の石を市民の皆さんにも見せてあげたいと寄贈してくださりました。」

春のミニ文化祭 自慢の作品を展示

—大川牛之浜区—

昨年から牛之浜区の公民館活動の一つとして行われている春のミニ文化祭が、今年もまた四月二十七日牛之浜公民館で開かれました。

この文化祭は、豊かな村づくりを目的とし、春と秋の年二回開かれ、丹精こめて作った作品をそれぞれ区民が持ち寄り、お互いの力作を見ながら労をねぎらい親睦をはかる意味で行われています。

文化祭には、児童からお年寄りまで幅広く参加され、児童館の子供たちが書いたこいのぼりの絵や大人たちが作った工芸品やつづじの盆栽、あるいはスポーツクラブの一年間の記録写真集など約二百



力作に見学者も「ウヘン見事」

点が出品されました。見学には牛之浜区外からも多くの人が訪れ、それぞれの力作に感



上脇浩二さんと南極の石

この南極の石は、ところどころにキラリと光る粒状が見られる、とてもきれいな石です。市役所の市民相談室カウンターに置いてありますのでご覧ください。



児童手当 二人目の
子どもにも支給

認定請求書を
提出されましたか

▽受給資格者

昭和五十九年六月一日以後に生まれた児童を含む、十八歳未満の児童を二人以上養育していることただし、前年の収入が一定額以上の方は受けられません。
該当する方は、六月三十日まで福祉事務所に認定請求書を提出してください。

5月の市内交通事故

()は前年 累計
1月から5月まで

発生件数 9 (15) 63
死亡者数 0 (0) 1
傷者数 11 (16) 75

ワンちゃんの引き取り

6月24日
7月1日・10日
午前10時～10時30分
保健センター

消防

ミニニュース

(一)は一月から五月まで
五月の火災発生数 0 (7)
救急車出動回数 63 (266)



自衛官募集の案内

★応募資格

十八歳以上二十五歳未満で中学校卒業程度以上の学力を有するもの。

★試験科目

筆記試験(国語・数学・社会) 身体検査・適性検査・口述試験

★募集期間

男子 九月三十日まで

事業所統計調査にご協力をお願いします

七月一日現在で、全国一斉に事業所統計調査が行われます。

この調査は、我が国のすべての事業所を対象とする国の最も基本的な統計調査の一つです。

事業所とは、人が賃金や報酬を得て働いている場所のことで、会社、工場、店舗、官公庁、病院、学校のほか神社、寺院なども含まれます。

女子 七月五日まで

詳しいことについては、市役所市民課まで

衆議院議員選挙は 参議院議員選挙は

七月六日(日)です

国政と暮らしを結ぶ大切な選挙です。必ず投票しましょう。

篤志寄付

次のかたがたから、寄付をいただきました。ありがとうございます。

社協だより

●阿久根ゴルフ同好会から交通遺児のために五万円。
●国際ソロプチミスト出水から記念樹代として十万円。
●鹿児島市の垂穂さん(波留区出身)から阿久根小へ図書代として二十万円。
●東京都の的場義次さん。大阪府の永野良隆さん(ケサノさん)から広報送付のお礼として寄付

次のかたがたから、香典返しとして、市社会福祉協議会に寄付がありました。ありがとうございます。

(敬称略)

濱崎正幸(浜) 出口修一(中村) 木下スガノ(田代下) 神之田エミ子(波留) 中平次男(折口東) 猿楽トエ(高松) 久保昇(新町) 大塚國男(大丸) 花田義岡(仲仁田) 大石二郎(町) 小田弘務(大尾) 飛松ツヤ(高之口) 猿樂忠(浜) 黒神高男(波留) 川保衛(下村) 花田松實(仲仁田) 有田昭(上野) 大進信治(大進) 松永イトノ(牛之浜)
▽篤志寄付
東京都の波多野愛さん。マラソンで日本一周しながら各地の社協に寄付。

編集後記

青年会議所主催のウォークラリー取材のために阿久根大島に渡った。行きたい時にはいつでも行けると思っているからだろうか本当に久しぶりの阿久根大島である。約二百人の子供たちも船に乗り近づいてくる大島に喜びを隠しきれないようである。

大島の船着き場には、約百頭の鹿が出迎えてくれた。思いもよらない歓迎に全員ビックリし、久しぶりの対面が五分ほど続いた。

ウォークラリーが始まり、子供たちと一緒に大島を歩くと、途中でかわい子鹿に出会ったり、また何十回も来ている大島であるがこのような眺めの良い所があったのかと大島の良さを改めて見直した。

昼前には県外から来られたらしい三十人ぐらいの団体や市内の家族もいくつか見える。

春の阿久根大島も夏に負けないぐらいの良さがある。

家族やグループ、職場で、弁当を持って「阿久根大島」や春まつりが行われた「いいの森」へ一度行かれて見てはどうですか。

阿久根の良さがまた一段とおわかりになるのでは!! (英)